

## 活力があり、みんなが笑顔で暮らせる

### 魅力ある柳川を目指し着実なステップを

災害対策など市が抱える課題の解決に全力を傾注する

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、日頃から市政運営にご支援、ご協力をいただき心から厚く感謝申し上げます。

昨年は、7月14日の九州北部豪雨により、矢部川と沖端川の堤防2か所が決壊したため、市域の3分の1が浸水し家屋や農漁業施設などに甚大な被害を与えました。そのような中、消防団をはじめ多くのボランティアの皆さんが、猛暑の中、泥だらけになって作業される姿に、言葉にならないほど感激しました。また、全国から多くの義援金や物資の提供をいただき、人の心の暖かさ、絆の大切さを身をもって実感いたしました。今後は防災計画の見直しや、国や県と連携した河川堤防の強化、排水機場の整備、防災行政無線の整備、自主防災組織の育成強化などにより、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

さて私は平成21年4月に市政を預かり、「活力があり、みんなが笑顔で暮らせる魅力あるまちづくり」を目標に「安心して住めるまち」「若者が夢と希望の持てるまち」「子

や孫の世代に住み続けたいまち」を実現するため、さまざまな課題に全力で取り組んでまいりました。

大きな課題でありましたピアス跡地問題や固定資産税の統一、合併処理浄化槽の問題など、市民の皆さまのご理解を得て解決することができました。また、大和・三橋地区のコミュニティセンターの整備は、26年度までに全校区に設置し、あわせて柳川地区の校区公民館も全館改修いたします。児童保育所は全校区に整備することにしてまいります。

#### 明るく活気のあるまちづくりを積極的に取り組む

西鉄柳川駅周辺の東口と西口を結ぶ自由通路整備、駅前広場の改修などにより、水郷柳川の玄関口としてふさわしいものにしてまいります。

人口減少対策として、基幹産業である農業や漁業、観光業さらに商工業のそれぞれの振興を図るとともに、柳川ブランド推進事業を進め産業界の連携強化を図り、若者の雇用の場を確保してまいります。

新たな課題である、老朽化したごみ焼却場と火葬場の改築については、みやま市と



柳川市長 金子健次

共同で取り組んでまいります。さらに、分散している庁舎の機能的配置や市民会館の改築については、市の財政負担が低い合併特例債を活用したいと考えております。特に市民会館は、詩聖北原白秋など優れた文人を輩出した文化都市にふさわしい機能を兼ね備えた施設として、平成28年度までに整備したいと考えています。

厳しい財政状況の中、経費削減と効率化をいっそう進め健全な財政運営に努めます。

これからも市民の皆さまが安心して暮らせるまち、明るく活気あるまちをつくるため、職員と一丸となり全力で市政運営に当たります。昨年に引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

この1年が市民の皆さまにとって、幸多い年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## ゆるぎない郷土の未来を築くため 魅力の向上と人材の育成を

市民・行政・議会が力を合わせ  
災害に強いまちづくりを

年頭にあたり、柳川市議会を代表致しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、昨年7月14日に発生した九州北部豪雨により被災された市民の皆様をはじめ、九州北部の多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。本市においても、沖端川と矢部川で堤防が決壊するという過去にないような洪水による大災害に見舞われ、住宅への土砂流入により、全壊、半壊を含む尋常ではない数の床上・床下浸水や農作物・漁場、また商工業においても大きな被害がでました。

しかしながら、炎天下の中、被災家屋などの復旧作業に市内外から大勢のボランティアの皆さんからご協力いただいたり、心温まる義援金をいただくなど、柳川市の1日も早い復旧にご支援いただいたことに對し、あらためてお礼を申し上げたいと思います。

市議会といたしまして、災害発生直後から被災地に向き、現地の被災状況を確認し、一刻も早い復旧のため執行部と共に、国、県等へ支援要請など迅速な対応を図ってきました。また、個々の議員においてはボランティアの皆さんとともに泥土の除去

に汗を流すなど、被災者の皆さんの支援に奮闘いたしました。また、完全復旧とはいきませんが、市民・行政・議会が力を合わせて災害に強いまちづくりを進めるとともに、本年は災害のない穏やかな年であるよう祈っております。

#### 少子高齢化や人口減少に対応し産業の振興で市の活性化を

柳川市も早いもので合併後8回目の新春を迎えることとなりました。市議会では、旧1市2町の伝統と歴史を踏まえつつ、更なる発展と均衡のとれた一体感のあるまちづくりの実現に意を注いでまいりました。また市民の皆様にも、より身近で、開かれた議会運営を目指し、その取り組みをさらに推進するため、一昨年設置した議会改革特別委員会、専門の講師を招いての研修を行いました。議員個々が率直な意見をぶつけ合い、新時代の議会の在り方を十分議論し、本市らしい議会改革を行いたいと強く決意するところです。

また、昨年は年末に実施された総選挙により大きな政治の転換がありました。これにより長引く不況から脱却できない日本の経済情勢が少しでも上向くことを強く願うものです。しかしながら、国の政治状況がどのように変わろうと、自治体は住民の二

ズに比べ、様々な行政課題の解決に努めていかなければなりません。特に、本市においては少子高齢化や人口減少に対応するための地域福祉の推進、また農業・水産業、観光の振興など、本市の活性化に向けた取り組みが常に求められています。

一方、本市周辺では有明海沿岸道路や国道385号線など、大規模なインフラ建設工事が進行中であり、加えて西鉄柳川駅の東口と西口を結ぶ自由道路整備、駅前広場の改修も予定されております。このようなインフラ整備と歩調を合わせながら、柳川の魅力の一層の向上と、将来を担う人材の育成にさらに力を注ぎ、ゆるぎない郷土の未来を築かねばなりません。市民の皆様のご協力をお願いいたします。

結びに、本年も柳川市政に對し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして今年が実り多い年でありませうお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



柳川市議会議員 古賀澄雄



蒲池焼「干支香合」

蒲池窯では、毎年、干支をデザインした香合を作っている。今年「へび」「琵琶」「琵琶とへび」の3種類。琵琶はへびの姿が好まれないため、七福神の一人、弁財天の使いがへびであることから、弁財天のシンボルである琵琶とへびを連想させている。